

5/29の午前11時にJE1PPG石井OMから、出発の連絡を受けて、私もモバイルに乗り込みました。

青梅街道と国道16号線が交差する、加藤塚アンダーパスを過ぎたあたりで、JE1PPG局をコールすると、あきる野インターから圏央道に入る所でした。

私も急ぎ岩倉街道に入り、圏央道青梅インターを目指しましたが、高速道路走行中のPPG局は青梅インター通過して行きました。

圏央道と関越高速が合流する、鶴ヶ島JKで「赤いFIT」にANTを付けた車を発見して、合流しました。

そこから2台で連なって走行して、目立った渋滞もなく前橋インターを降りました。

今日のキャンプディナー準備の為に県道4号線沿いにある、生協のスーパーで食料調達をしました。肉、野菜、米、ビールなどを買い込んで、赤城の大沼を目指します。

途中、赤城ゴルフ場を過ぎたあたりから霧が濃くなり視界が悪くなり始めました。

「240の電波伝搬実験は、4年続けてWXには恵まれない」などと話をしながら、標高1200mを過ぎたあたりからは、前方5～6m先は霧の中で真っ白でした。

昨年、電波伝搬実験をした赤城観光案内所(1400m)付近では3～4mの視界でした。

その観光案内所を過ぎると、大沼が見えてくるはずが、大沼の周回道路に入っても大沼を確認する事は出来ませんでした。

赤城神社を過ぎて、キャンプ場入り口の道路に入ったつもりが、赤城神社の駐車場だったのでUターンして、14時過ぎに群馬県営のキャンプ場に到着しました。

大沼の湖畔にあるキャンプ場で2～3台の車と2～3張のテントがありました。

インターネットで調査した群馬県営のキャンプ場は水場、トイレ、東屋がありFBな様な感じでしたが、シーズンオフでもありトイレは使用禁止でした。



WXがFBであれば、大沼や明日登る地蔵岳が一望に見える場所にテントと、ディナー用のタープ設営をしました。

設営終了後、5/8λGPの組立てて動作確認の為50.240Mhzで電波を出しましたが、応答は有りませんでした。VSWRは1.2位なのでOKです、ダイヤルを回すと千葉や都内の局入感しているので、チェックは完了しました。

ディナー準備の為、火起し名人の石井OMが途中で調達した「備長炭」と薪をセットして、火起しを始めました、薪があいにくの霧雨で不機嫌なために、手こづりましたが、さすが名人石井の手にかかると、不機嫌な薪も元気を出して燃え上がり、硬い備長炭君も赤くなりました。

ビールで乾杯して、メインは網焼きの焼肉&ホルモン焼きを美味しく頂きました。

5/30、あたりが明るくなった5時前に起きてみると、雨は止んでいて大沼は見えましたが、今日の移動地である地蔵岳は雲の中で見えませんでした。

5/8GPの撤収や担ぎ上げ機材の準備や朝食を済ませて、荷物だけ整理してテントとタープはそのまま、地蔵岳の上り口である、八丁峠へ向かいました。



八丁峠に到着すると既に7時だったので、まずはモバイルから50.240mhzで2声出しましたが応答がなく、地蔵岳目指して登り始めました。

登り始めて直ぐに、PPG局が忘れものに気づき私は先に一人で登りました。

5月8日の下見登山の時は、10分ほど登ると小沼の緑色の湖面が綺麗にみえましたが、今日は霧で何も見えませんでした。予定通り30分で1673mの地蔵岳山頂に到着しました。

まず、5/8GPを組立てて、FT817に接続すると、大観山移動のJA1UPE篠原OMの信号が飛びこんできました。

ポールは石井OMが担当だったので、ポールが来るまで5/8GPを手持ちで、JA1UPE/1に到着の連絡しました。

近くの杭に5/8GPをビニールテープで止めて、HB9CVの組立て始めると石井OM

が登ってきました。

早速、ポールに5/8とHB9CVを取付けて、HB9CVに同軸ケーブルを取付け様とした所、「ア～」中継コネクタを忘れた！、！、と焦りました。

しかし、アマチュア無線家なので気合を入れて有るもので対応する事にしました。垂直水平の切替スイッチを直結してなんとか解決しました。そして、移動各局が強力に入感して来ました。



次にリニアアンプを接続して送信すると、バタバタとチャタリングを起してしまいキャリアコンのスタンバイが上手く動作してない。

ここでも気合をいれて、石井OMが持参のガス半田鋺で強制スタンバイ回路を作り、無事リニアAMPも動作可能となりました。

時間は既に8:30となっていましたので、移動各局の準備状況を確認すべく 50.240MHZに周波数を合わせると、少し下 50.237Mhz位で強力なCW局で出ていました。

少しワッチしてから、こちらの信号が混信になる事は無いと判断して、強引にコントロールを開始しました。

JH1RCA/8、JJ1SXA/7、JK1CZD/7をコールするが、応答は無し、北海道移動のRCA局は仕方ないとしても、福島移動のSXA/CZDが聞こえてこないのはどうしてだろう？

次に、1エリア各局は無事にチェックイン出来ました、2エリアのJR2CTR/2の青山高原は、コールサインは確認出切るが、話の内容は深いQSBに埋もれて??なので、JA1UPE/1大観山経由で内容確認をしました。

一通りチェックしたあと、再度JJ1SXA/7をコールするとCWの信号が419位で入感したので、こちらもCWでコールしようとする、電波が出ない??、先ほどの強制スタンバイ回路ではCWモードまで対応してないので、マイクのプレストークを押しながらパドル操作をしなければならず、パドルが固定されてないので、乱れた符号だった為かコンディションの為か、JJ1SXA/7からのコールバックは有りませんでした。

電波実験を開始する9:00になったので、JA1FYQ/1南房総市を先頭に1エリア各

局の実験が開始されました。

当日エントリーの J F 1 Z F C / 1 横須賀市移動の宍戸OMが終了して、一巡した頃に、J A 1 V W B / 1 瑞穂町移動の木村OMから、J J 1 S X A / 7 は待機中と J K 1 C Z D / 7 が Q S Y してモバイル走行中の連絡がり、J J 1 S X A / 7 をコールするとコールバックがあり、U R 5 1 / M Y 5 1 でこちらとの、コンタクトは出来ましたが、他移動各局がコールしましたがコンタクトは不成立でした。

また、J K 1 C Z D / 7 が Q S Y して水戸モバイルで何局かとコンタクト出来ました。

引き続き J F 1 E Y H / 1 高崎市移動と J N 1 P N Q / 0 をコールしました。

近いはずの J F 1 E Y H / 1 からのコールないので、「雨の為 Q R V 不可なのだろうか」と思う、さらに耳をすませると、J N 1 P N Q / 0 長野県北安曇郡小谷村の信号が 41~51 で入感して来ました、J A 1 V W B / 1 局がコールするが J N 1 P N Q / 0 局は入感無い模様でした。

1 巡したあと、J H 8 R C A / 8 を再度コールしましたが、応答が無く 1 0 : 0 0 に 5 0 . 2 4 0 電波伝搬実験を終了しました。

一息いれて、A N T を H B 9 C V に切り替え一般の C Q 呼び出しを行い 15 局と Q S O してから W X も B F なので 1 1 時には下山して、ベースキャンプに戻り昼食を食って、キャンプを撤収して、帰路につきました。



おわり